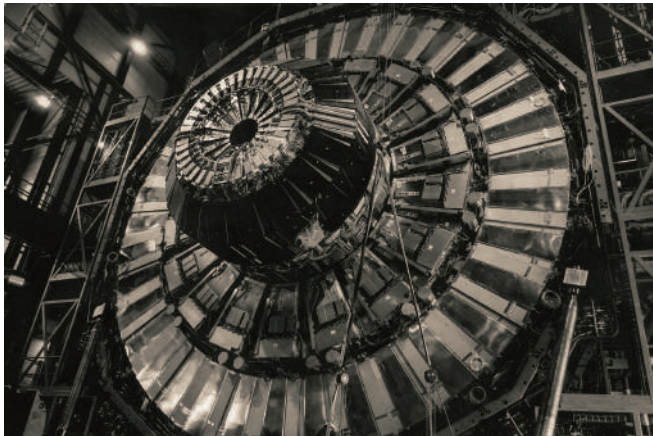


COHJU contemporary art 企画展 | KG+ Kyotographie satellite **KG+**

Platinum Print / Alternative Process meets Tosahakkinshi

プラチナプリント / オルタナティブプロセス、土佐白金紙と出会う



吉岡さとる
「何故われわれは存在するのか？」より
プラチナプリント

【タイトル】 プラチナプリント／オルタナティブプロセス、土佐白金紙と出会う
(ぶらちなぷりんと／おるたなていぶぷろせす、とさはっきんしとであう)

【作 家】 Mark & Kristen Sink / Francis Schanberger / 吉岡 さとる
(まーく & くりすてん・しんく / ふらんしず・しゃんばーがー / よしおか さとる)

【会 期】 2014年4月26日(土) _ 5月11日(日)

【時 間】 12:00 _ 18:00

【定休日】 月曜日

【場 所】 COHJU contemporary art | 〒604-0981 京都市中京区丸太町通寺町西入毘沙門町557 江寿ビル1F

【問合せ】 Tel. 075-256-4707 / Fax. 075-231-0948 / mail. info@cohju.co.jp

【内 容】 オルタナティブプロセスとは工業製品が主に使われる写真表現に対し、オルタナティブ、つまり主流ではない19世紀の古典印画法を中心とした、手作りの写真表現のことをいいます。その中でもプラチナプリントは500年保つと言われるほどの長期保存性が高く優美で独特の階調表現ができるファインアートフォトグラフィーの分野で人気の高い写真印画法です。デジタル写真が主流となった現在、手作りされた印画の持つ味わいや質感は比類なく、その存在感を増しています。プラチナプリントでは支持体となる紙が重要な要素で、コットンラグを使った美術紙が多く使われていますが、近年は日本各地の和紙も使われるようになってきました。特に雁皮紙の人気の高いのですが、なかなか理想的な紙がないのが実情です。高知在住の写真家・吉岡さとると土佐和紙プロダクツでその魅力を広く紹介している吉岡綾子が、写真技法研究家としても活躍をしているフォト・ギャラリー・インターナショナルの西丸雅之と、若手の紙漉き職人グループ「土佐の山・紙資源の会」を繋ぎ、高知県の町の支援により、土佐の楮を使ったプラチナプリント用の和紙「土佐白金紙」を作りあげました。今回、COHJU contemporary artでは 昨年、いの町紙の博物館(高知)で開催された『特別展 | 土佐和紙とプラチナプリント／オルタナティブプロセス:新たな価値創造への試み』より米国を拠点に活動してるMark & Kristen Sink, Francis Schanberger, 吉岡さとるの「土佐白銀紙」を使ったプラチナプリントの作品を展示するとともに「土佐白金紙」が作り出されるまでの過程を紹介することにより、写真と和紙、その組合せが生み出す魅力と新たな可能性をご覧ください。

本件へのお問い合わせ | 担当:速水(はやみ) Mail: seori@cohju.co.jp Tel: 075-256-4707

コウジュ コンテンポラリーアート

〒604-0981京都市中京区丸太町通寺町西入毘沙門町557 江寿ビル1F Tel.075-256-4707 / Fax.075-231-0948

1F COHJU bldg., 557 Bishamon-cho, Nakagyo-ku, Kyoto, Japan 604-0981 Tel. +81(0)75-256-4707 / Fax. +81(0)75-231-0948



Mark & Kristen Sink / マーク&クリスティン・シンク

写真家。アメリカ コロラド州デンバー在住。

過去5年間にわたり、コロジオン湿板プロセスやガラス板上でのアンプロタイプ、アルミニウム板上でのティンタイプなど初期の写真技術を用いて作品の製作に取り組んでいる。

マーク氏は、アンディ・ウォーホル、ジャン・ミッシェル・バスキアなどと交流を持つ。デンバー現代美術館の共同創立者、キュレーターとしても活躍。このプロジェクトには夫人のクリスティン氏とのユニットで参加。

<http://www.galleriesink.com>

title: Mark in Aspens, 2010



Francis Schanberger / フランシス・シャンバーガー

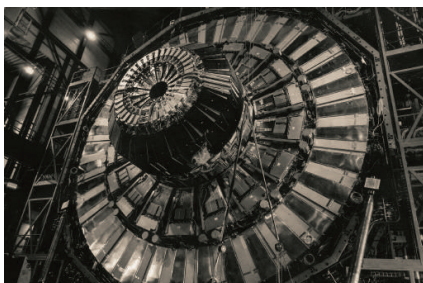
写真家。アメリカ、オハイオ州デイトン在住。

積極的に和紙などを使った写真作品を発表しており、ニューヨークのSoho Photoやthe Houston Center for Photography、デンマークのthe Musee for Fotokunst in Odenseeで展覧会を開催し、作家活動を行っている。

オハイオ州デイトン大学 写真専門教員。

<http://francissschanberger.com>

title: Hairy Cemetery Nut



吉岡さとる / Satoru Yoshioka

1963年高知県生まれ。2005年より世界の加速器研究所を訪れ、2007年ヒッグス粒子で有名なスイスのCERN研究所を撮影。2008年、イギリスの写真雑誌「ブリティッシュ・ジャーナル・オブ・フォトグラフィ」よりベスト科学写真家に出選される。写真年鑑2009、インタビュー特集2008この人に掲載される。2012年 吉岡さとる作品集「ビクサイエンス スタンフォード線形加速器センター」(PPrP出版) が東京都写真美術館図書室に収蔵される。

<http://www.sypi.com>

title: 「何故、われわれは存在してるのか?」より

お問い合わせ | 担当:速水(はやみ) Mail: seori@cohju.co.jp Tel: 075-256-4707

コウジュ コンテンポラリーアート

〒604-0981京都市中京区丸太町通寺町西入毘沙門町557 江寿ビル1F Tel.075-256-4707 / Fax.075-231-0948

1F COHJU bldg., 557 Bishamon-cho, Nakagyo-ku, Kyoto, Japan 604-0981 Tel. +81(0)75-256-4707 / Fax. +81(0)75-231-0948